

2022年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ノンリニア編集スキル			4	森本 雅具
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	必須	64	実務経験多数

□ 授業概要

PremiereProオペレーションおよびノンリニア編集基礎

□ 授業テーマ

撮影素材の扱い方、編集に入る前のセッティングから映像制作までの流れ、各フォーマットを理解する

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	PremierePro設定	PremiereProガイダンス
2	／	PremierePro設定	PremierePro設定とプロジェクト管理 カット編集
3	／	PremierePro設定	PremierePro設定とプロジェクト管理 カット編集
4	／	PremierePro設定	PremierePro設定とプロジェクト管理 カット編集
5	／	PremierePro・編集基礎	PremiereProオペレーションレクチャー
6	／	PremierePro・編集基礎	PremiereProオペレーションレクチャー
7	／	PremierePro・編集基礎	カット編集準備 アクション繋ぎと素材準備(撮影)
8	／	PremierePro・編集基礎	カット編集準備 アクション繋ぎと素材準備(撮影)
9	／	PremierePro・編集基礎	カット編集 アクション繋ぎの効果と狙い
10	／	PremierePro・編集基礎	カット編集 アクション繋ぎの効果と狙い
11	／	PremierePro・編集基礎	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	PremierePro・編集基礎	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
13	／	PremierePro・編集基礎	作品フォーマットの理解とデータ変換
14	／	PremierePro・編集基礎	作品フォーマットの理解とデータ変換
15	／	PremierePro・編集基礎	プロジェクトまとめ
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

PremiereProオペレーションおよびノンリニア編集基礎

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

**2022年度（後期） 放送・映画学科 1年**

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ノンリニア編集スキル			4	森本 雅具
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	必須	64	実務経験多数

授業概要

AfterEffectsオペレーションおよび映像加工の考え方

授業テーマ

メディアミックスの考え方視覚効果を考える

授業項目

授業内容

1	前期ノンリニア編集スキル振り 返り	PremiereProの振り返り
2	Aftereffects0	アフターエフェツガイダンス
3	Aftereffects1-1	合成の効果とオペレーション 素材選定とソフトオペレーション
4	Aftereffects1-2	合成の効果とオペレーション 素材選定とソフトオペレーション
5	Aftereffects2-1	合成実践 プランから最終カットを制作する
6	Aftereffects2-2	合成実践 プランから最終カットを制作する
7	Aftereffects3-1	モーショングラフィックスを考える① AfterEffectsオペレーション1
8	Aftereffects3-2	モーショングラフィックスを考える① AfterEffectsオペレーション1
9	Aftereffects4-1	モーショングラフィックスを考える② AfterEffectsオペレーション2
10	Aftereffects4-2	モーショングラフィックスを考える② AfterEffectsオペレーション2
11	Aftereffects5-1	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	Aftereffects5-2	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
13	Aftereffects6-1	作品フォーマットの理解とデータ変換
14	Aftereffects6-2	作品フォーマットの理解とデータ変換
15	Aftereffects7	プロジェクトまとめ
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

Aftereffectsオペレーションおよび映像加工の理解

評価方法

課題評価

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	CM企画演出I			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	必須	64	CMプランナー

□ 授業概要

実際の映像制作を通して業務全体のスケール感やスピード感を体感する。

□ 授業テーマ

実際の映像制作のプロセスを体感する

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	企画	課題に対して、複数案の企画コンテを書く。企画を決定する。
2	／	企画	決定した企画コンテを元に演出コンテを書き、演出プランを決定する。
3	／	演出プラン	演出コンテを元に制作の準備を行う。
4	／	演出プラン	実際に撮影を行い、現場での制作進行、演出の立ち回りや注意点を学ぶ。
5	／	テスト撮影	撮影素材を編集する。MAを行う。
6	／	プレビュー	全体での試写を行い、アドバイスをを行う。
7	／	仕上げ	アドバイスを元に修正を行い、作品を完成させる。
8	／	課題①	課題に対しての企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
9	／	課題①	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
10	／	課題①	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
11	／	課題①	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	課題①	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
13	／	課題①	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
14	／	課題①	全体を通しての改善点を理解し、完成した映像を分析する。
15	／	仕上げ	アドバイスを元に修正を行い、作品を完成させる。
16	／	振り返り	

□ 到達目標

作品制作のプロセスを理解する

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	CM企画演出I			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	必須	64	CMプランナー

□ 授業概要

複数の課題を体験し、「CMが作れる」ではなく「最適なCMが作れる」を目指す。

□ 授業テーマ

クオリティアップとマネジメント

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	課題①	課題に対しての企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
2	／	課題①	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
3	／	課題①	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
4	／	課題①	課題に対しての企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
5	／	課題①	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
6	／	課題①	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
7	／	課題①	全体を通しての改善点を理解し、完成した映像を分析する。
8	／	課題②	課題に対しての企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
9	／	課題②	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
10	／	課題②	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
11	／	課題②	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	課題②	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
13	／	課題②	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
14	／	課題②	全体を通しての改善点を理解し、完成した映像を分析する。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

クライアントをより意識した顧客満足を理解し、  
クリエイティブが作品の向上に果たせる役割を理解する。

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	映像表現基礎			4	小西 一也
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	必須	64	現場カメラマン多数参加

□ 授業概要

映像を構成する表現と手法を実習を通して学ぶ

□ 授業テーマ

映像表現、基本構成を理解する

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	撮影機材基礎知識 1	カメラ、レンズ知識と用語理解／実習
2	／	撮影機材基礎知識 2	構図についてレクチャー／実習
3	／	撮影機材基礎知識 3	カメラワークについてレクチャー／実習
4	／	撮影機材基礎知識 4	映像テーマについてレクチャー／実習
5	／	撮影機材基礎知識 5	撮影に必要な周辺機器と、映像信号の理解
6	／	撮影機材基礎知識 6	撮影機材の使用方法和、撮影に必要な知識の理解
7	／	撮影機材基礎知識 7	撮影機材の使用方法和、撮影に必要な知識の理解
8	／	撮影機材基礎知識 8	撮影機材の使用方法和、撮影に必要な知識の理解
9	／	撮影機材基礎知識 9	撮影機材の使用方法和、撮影に必要な知識の理解
10	／	撮影機材基礎知識 1 0	録音機材の使用方法和、録音に必要な知識の理解
11	／	撮影機材基礎知識 1 1	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	撮影機材基礎知識 1 2	課題制作について
13	／	課題制作	ショートムービー制作
14	／	課題制作	ショートムービー制作
15	／	レビューと評価	レビュー
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

映像表現の手法と効果を知る

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	映像表現基礎			4	小西 一也
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	必須	64	現場カメラマン多数参加

□ 授業概要

自己表現についてのアプローチとプロセス

□ 授業テーマ

作家性または商業性またはそのバランスとその表現を個人レベルでの確立

□ 授業項目

□ 授業内容

1	作品解説	街に出て自分にとって積極的に関わろうとするさ事物を魅力的に撮る
2	プリプロダクション	個人制作企画、テーマ、ジャンル自由
3	プロダクション	企画、撮影準備、撮影
4	プロダクション	企画、撮影準備、撮影
5	プロダクション	企画、撮影準備、撮影
6	プレビュー	合評、リテイク、追撮、再編集、改編
7	作品解説	課題「自己紹介」企画
8	作品解説	ドキュメンタリー論 ドキュメンタリーとフィクションの相互関係
9	作品解説	エモーショナル・レスキュー 内的必然と公的圧力
10	選考	個人制作課題企画選考会
11	プリプロダクション	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	プロダクション	企画、脚本のプロセスと撮影
13	ポストプロダクション	リテイク、追撮、改編、再編集
14	プレビュー	合評
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

作品完成とそれぞれの自主性と合理性、創造力と実現力

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	映画制作基礎			4	小西 一也
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	必須	64	現場カメラマン多数参加

□ 授業概要

表現のジャンルの中でさらには映像の他ジャンルの中で「映画」の位置づけを考えられるようになる

□ 授業テーマ

映画的表现についての考察と理解

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	プリプロダクション	モンタージュと編集、映画文法
2	／	プリプロダクション	映画制作におけるスタッフワーク
3	／	プリプロダクション	グループ制作 企画 選考会
4	／	プロダクション	テスト撮影、ロケハン、プリプロダクション概要
5	／	プロダクション	撮影、ロケーション(自然光)
6	／	ポストプロダクション	編集におけるリズムとバランス
7	／	プレビュー	合評、評論、感想、分析、リテイクと追加撮影
8	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
	／	プリプロダクション	プレゼン
	／	プリプロダクション	プレゼンとグループ調整
	／	実践	グループ制作
	／	実践	グループ制作
	／	実践	グループ制作
	／	実践	グループ制作
	／	実践	グループ制作
	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

映画の手法・制作プロセスを理解する

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期）		放送・映画学科 1年		
授業コード	授業科目名		週間事業時数	担当講師名
	映画制作基礎		4	小西 一也
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習 必須	64	現場カメラマン多数参加

授業概要

表現のジャンルの中でさらには映像の他ジャンルの中で「映画」の位置づけを考えられるようになる

授業テーマ

映画の表現についての考察と理解

授業項目

授業内容

1	プリプロダクション	前期振り返り
2	プリプロダクション	映画制作におけるスタッフワークの改善点
3	プリプロダクション	グループ制作 企画 選考会
4	プロダクション	テスト撮影、ロケハン、プリプロダクション概要
5	プロダクション	撮影、ロケーション(自然光)
6	ポストプロダクション	編集におけるリズムとバランス
7	プレビュー	合評、評論、感想、分析、リテイクと追加撮影
8	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
	プリプロダクション	プレゼン
	プリプロダクション	プレゼンとグループ調整
	実践	グループ制作
	実践	グループ制作
	実践	グループ制作
	実践	グループ制作
	実践	グループ制作
	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

映画の手法・制作プロセスを理解する

評価方法

課題評価

教科書 ・ 参考文献

その他



2022年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	番組企画制作			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	必須	64	CMプランナー

授業概要

番組制作・構成に関わる基礎項目

授業テーマ

テレビ業界の概要や番組が出来るまでの流れを理解する  
 テレビ番組制作に必要な書類を理解し作成できるようになる

授業項目

授業内容

1	／	放送の種類	地上波と衛星放送/キー局や放送時間/ターゲットについて
2	／	放送業界の職種	番組制作に関わる人や職種/ADの仕事からみた番組制作のおおまかな流れ
3	／	番組構成①	テレビ番組の種類や構成について
4	／	番組構成②	テレビに必要な音楽やテロップ/リサーチの重要性
5	／	番組制作①	番組ロケの流れ
6	／	番組制作②	スタジオ収録の流れ
7	／	作品研究	テレビディレクター出身の映画監督/テレビ以外の映像作品に興味を持つ重要性
8	／	番組書類作成①	番組概要書/取材撮影許可申請書を作成
9	／	番組書類作成②	番組の企画書や提案書を作成
10	／	番組書類作成③	番組台本を作成
11	／	番組書類作成④	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	番組書類作成⑤	ドラマに必要な書類の理解
13	／	番組書類作成⑥	ドラマに必要な書類作成(脚本/番組表/総合スケジュール)
14	／	番組書類作成⑦	書類作成のテスト
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

撮影に必要な書類を作成するスキルを身につける。

評価方法

課題・出欠状況

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	番組企画制作			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	必須	64	CMプランナー

授業概要

番組制作を通したコミュニケーション強化

授業テーマ

番組制作を企画から行いVTRを完成させる  
脚本から作成しドラマ作品を完成させる

授業項目

授業内容

1	／	ディレクション①	テーマを発表し企画を構築
2	／	ディレクション②	企画会議を行い企画書を完成
3	／	制作①	台本とスケジュールの作成
4	／	制作②	取材交渉や出演者のブッキング
5	／	制作演習①	制作作業
6	／	制作演習②	制作作業
7	／	試写①	試写と合評
8	／	ドラマ・ディレクション①	テーマに沿った脚本の作成
9	／	ドラマ・ディレクション②	合評を行い作成する作品を選定しグループ分けを行う
10	／	ドラマ制作①	スケジュール作成/取材交渉や出演者のブッキングなど
11	／	ドラマ制作演習①	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	ドラマ制作演習②	制作作業
13	／	ドラマ制作演習③	制作作業
14	／	試写②	試写と合評
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

撮影における制作の重要性を理解する。

評価方法

課題・出欠状況

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ストーリー構成			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	必須	64	CMプランナー

□ 授業概要

ストーリーの種類を知り、基本的なストーリーを構成できるようになる。

□ 授業テーマ

ストーリー構成と脚本のフォーマット

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ストーリー概論	ストーリーとは何か。有名なストーリーを分解して構成を知る。
2	／	ストーリー構成	一般的な文章構成「起承転結」と「序破急」を理解し、「起承転結」と「序破急」を使って文章を構成できるようになる。
3	／	発想法	オリジナルストーリーに着手するための発想方法を学ぶ。
4	／	プロット講義	プロットに至るまでのステップを知る。ログライン、大箱を理解し、アイデアをまとめるプロセスを学ぶ。
5	／	脚本構成	脚本のフォーマットを学ぶ。
6	／	脚本構成	実際にアイデアからストーリーを構成して、脚本化する。
7	／	脚本検証	脚本を完成させ、検証する。
8	／	個人制作	前半で学んだこと活かし個人的なストーリー構成を行う
9	／	個人制作	前半で学んだこと活かし個人的なストーリー構成を行う
10	／	個人制作	前半で学んだこと活かし個人的なストーリー構成を行う
11	／	中間提出	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	ブラッシュアップ制作	手直し制作
13	／	ブラッシュアップ制作	手直し制作
14	／	プレゼン発表	作成したストーリーを発表
15	／	振り返り考察	まずは完成までできたか？そして今度は共感を得る作品へのシフトチェンジ。
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

脚本完成

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	ストーリー構成		4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数
	後期 10月～3月	実習	必須	64
				実務経験
				CMプランナー

□ 授業概要

課題を通して様々なストーリー構成を知り、最適な構成を使いこなせるようになる。

□ 授業テーマ

脚本作成

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	第1作	第1作:自身の体験を元にショートストーリーを脚本化するためアイデアをログラインにする。
2	／	第1作	ログラインからプロット、大箱の流れ。全体の構成を固める。
3	／	第1作	初稿：実際に脚本化する。
4	／	第1作	第2稿：初稿を元にブラッシュアップしていく。
5	／	第1作	第3稿：第2稿を元にブラッシュアップしていく。
6	／	第1作	第4稿：第3稿を元にブラッシュアップしていく。
7	／	第1作	決定稿：第4稿を元に脚本を完成させる。
8	／	第2作	第2作:自身の体験を元にショートストーリーを脚本化するためアイデアをログラインにする。
9	／	第2作	ログラインからプロット、大箱の流れ。全体の構成を固める。
10	／	第2作	初稿：実際に脚本化する。
11	／	第2作	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	第2作	第3稿：第2稿を元にブラッシュアップしていく。
13	／	第2作	第4稿：第3稿を元にブラッシュアップしていく。
14	／	第2作	決定稿：第4稿を元に脚本を完成させる。
15	／	作品共有	各作品を比較し批評する
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

脚本完成

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	映像照明技術Ⅰ			4	藤屋 登
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	必須	64	TV照明業務に従事

授業概要

映像照明の基礎用語・オペレーションを理解する

授業テーマ

照明の役割と基本

授業項目

授業内容

1	／	照明基礎①	照明の役割と効果について用語解説
2	／	照明基礎②	映像照明基礎 1 三点照明(役割と効果)
3	／	照明基礎③	映像照明基礎 2 電気と電力について
4	／	照明基礎④	映像照明基礎 3 色温度についての特徴と効果
5	／	照明基礎⑤	映像照明基礎 4 カポック・フラッグ等補助備品の活用法
6	／	照明基礎⑥	映像照明基礎 5 露出と照度
7	／	照明基礎⑦	映像照明基礎 6 目と視覚
8	／	照明基礎⑧	映像照明基礎 7 映像照明と舞台照明
9	／	照明基礎⑨	映像照明基礎 8 自然光の利用
10	／	照明基礎⑩	映像照明基礎 9 照明演出について
11	／	照明基礎11	映像照明基礎 10 学内にある機材について
12	／	照明基礎12	映像照明基礎 1 1 仕込んでみよう①
13	／	照明基礎13	映像照明基礎 1 2 仕込んでみよう②
14	／	照明基礎14	映像照明基礎 1 3 仕込んでみよう③
15	／	照明基礎15	映像照明基礎まとめ
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

照明の基本と役割を知る

評価方法

理解度確認テスト

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	映像照明技術Ⅰ			4	藤屋 登
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	必須	64	TV照明業務に従事

□ 授業概要

各種環境下でのライティングワーク

□ 授業テーマ

シチュエーションに応じた映像照明を理解する

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ライティングシミュレーション	シミュレーション1-1 商品ライティング(メタル)
2	／	ライティングシミュレーション	シミュレーション1-2 ポートレート 屋外1
3	／	ライティングシミュレーション	シミュレーション1-3 ポートレート(屋内/ライティング)
4	／	ライティングシミュレーション	シミュレーション1-4 シズルカット(湯気)
5	／	ライティングシミュレーション	シミュレーション1-5 シズルカット(リキッド)
6	／	ライティングシミュレーション	シミュレーション1-6 シズルカット(料理)
7	／	ライティングシミュレーション	シミュレーションライティング1まとめ
8	／	ライティングシミュレーション	シミュレーション2-1 クロマキーライティング(day)
9	／	ライティングシミュレーション	シミュレーション2-2 クロマキーライティング(night)
10	／	ライティングシミュレーション	シミュレーション2-3 ドラマシーン考察(day)
11	／	ライティングシミュレーション	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	ライティングシミュレーション	シミュレーション2-5 ドラマシーン考察(night)
13	／	ライティングシミュレーション	シミュレーション2-6 ドラマシーン考察(night)
14	／	ライティングシミュレーション	シミュレーションライティング2まとめ
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演出によるライティングの重要性を理解する

□ 評価方法

理解度確認テスト

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	映画史・映像論			2	小西 一也
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	理論	必須	32	現場カメラマン多数参加

□ 授業概要

主に映画史を通して映像の進化、退化を考える

□ 授業テーマ

映画の歴史と映像考察から映像構成を学ぶ

□ 授業項目

□ 授業内容

1	映画の成立と表現の確立を学ぶ	映画撮影の歴史
2	映画の成立と表現の確立を学ぶ	初期映画 映像の誕生
3	映画の成立と表現の確立を学ぶ	モンタージュ理論 映像編集のもたらしたもの
4	映画の成立と表現の確立を学ぶ	映画編集の歴史
5	映画の成立と表現の確立を学ぶ	アンダーグラウンド映画と実験映像
6	映画の成立と表現の確立を学ぶ	サイレント映画からトーキー映画へ
7	映画の成立と表現の確立を学ぶ	ミュージカル映画の誕生 映像と音楽 ミュージックビデオ史
8	映画の成立と表現の確立を学ぶ	大ヒット映画の特徴
9	映画の成立と表現の確立を学ぶ	時代背景を捉える映画についての考察
10	映画の成立と表現の確立を学ぶ	タイアップ効果について
11	映画の成立と表現の確立を学ぶ	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	映画の成立と表現の確立を学ぶ	変わる映画業界
13	映画の成立と表現の確立を学ぶ	ネット映画の台頭
14	映画の成立と表現の確立を学ぶ	個人から個人への映像提供の時代へ
15	映画の成立と表現の確立を学ぶ	今後の映像業界の展望
16	振り返り	

□ 到達目標

映像構成を映画史を通して理解する

□ 評価方法

理解度確認テスト

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	映像照明技術			4	藤屋 登
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	選択	64	TV照明業務に従事

授業概要

シーンの組み立てから照明プランを考察する

授業テーマ

シチュエーションに応じた映像照明を理解する3照明プランを考える

授業項目

授業内容

1	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン1
2	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン2
3	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン3
4	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン4
5	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン5
6	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン6
7	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン7
8	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン8
9	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン9
10	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン10
11	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン11
12	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン12
13	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン13
14	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン14
15	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン15
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

評価方法

教科書 ・ 参考文献

その他



2022年度（後期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	映像照明技術			4	藤屋 登
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	選択	64	TV照明業務に従事

授業概要

シーンの組み立てから照明プランを考察する

授業テーマ

シチュエーションに応じた映像照明を理解する3照明プランを考える

授業項目

授業内容

1	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン16
2	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン17
3	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン18
4	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン19
5	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン20
6	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン21
7	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン22
8	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン23
9	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン24
10	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン25
11	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン26
12	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン27
13	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン28
14	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン29
15	／	ライティングシミュレーション	ドラマシーン30
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

評価方法

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	映像作品研究			4	小西 一也
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	選択	64	現場カメラマン多数参加

授業概要

名作からのインスピレーション

授業テーマ

映像作品の幅広さを習得し、自己を分析する

授業項目

授業内容

1	／	映像作品とテーマ	青春作品1
2	／	映像作品とテーマ	青春作品2
3	／	映像作品とテーマ	家族映画作品1
4	／	映像作品とテーマ	家族映画作品2
5	／	映像作品とテーマ	家族映画作品3
6	／	映像作品とテーマ	音楽について1
7	／	映像作品とテーマ	音楽について2
8	／	映像作品とテーマ	音楽について3
9	／	映像作品とテーマ	愛について1
10	／	映像作品とテーマ	愛について2
11	／	映像作品とテーマ	時代と歴史1
12	／	映像作品とテーマ	時代と歴史2
13	／	映像作品とテーマ	人生とは1
14	／	映像作品とテーマ	人生とは2
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

様々なジャンルの作品を知り、知識を増やす。

評価方法

レポート、出席状況

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	映像作品研究			4	小西 一也
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 10月～3月	実習	選択	64	現場カメラマン多数参加

□ 授業概要

名作からのインスピレーション

□ 授業テーマ

映像作品の幅広さを習得し、自己を分析する

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	作品研究Ⅱ①	音楽をテーマにした映画、映像を研究1
2	／	作品研究Ⅱ②	音楽をテーマにした映画、映像を研究2
3	／	作品研究Ⅱ③	音楽をテーマにした映画、映像を研究3
4	／	作品研究Ⅱ④	時間をテーマにした映画、映像を研究1
5	／	作品研究Ⅱ⑤	時間をテーマにした映画、映像を研究2
6	／	作品研究Ⅱ⑥	愛をテーマにした映画、映像を研究1
7	／	作品研究Ⅱ⑦	愛をテーマにした映画、映像を研究2
8	／	作品研究Ⅲ①	青春をテーマにした映画で自己分析1
9	／	作品研究Ⅲ②	青春をテーマにした映画で自己分析2
10	／	作品研究Ⅲ③	青春をテーマにした映画で自己分析3
11	／	作品研究Ⅲ④	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	作品研究Ⅲ⑤	家族をテーマにした映画で自己分析2
13	／	作品研究Ⅲ⑥	映像トリックを駆使した映画、映像を研究
14	／	作品研究Ⅲ⑦	映像トリックを駆使した映画、映像を研究
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

様々なジャンルの作品を知り、知識を増やす。

□ 評価方法

レポート、出席状況

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	映像制作技術			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	備考
	前期 4月～9月	実習	選択	64	CMプランナー

□ 授業概要

作品制作を通じて自己表現のスキルを高め、客観的な魅力ある一本を完成させる。

□ 授業テーマ

スキルを駆使した自己表現

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	CMショートムービー制作技術 1	テーマの決定と企画案
2	／	CMショートムービー制作技術1	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフイング
3	／	CMショートムービー制作技術1	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
4	／	CMショートムービー制作技術1	ロケーション、美術やルックの確認とをテスト撮影
5	／	CMショートムービー制作技術1	撮影
6	／	CMショートムービー制作技術1	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
7	／	CMショートムービー制作技術1	プレビュー／技術レベルの確認
8	／	CMショートムービー制作技術2	テーマの決定と企画案
9	／	CMショートムービー制作技術2	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフイング
10	／	CMショートムービー制作技術2	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
11	／	CMショートムービー制作技術2	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	CMショートムービー制作技術2	撮影
13	／	CMショートムービー制作技術2	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
14	／	CMショートムービー制作技術2	プレビュー／技術レベルの確認
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

作品の完成

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	映像制作技術			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	備考
	後期 10月～3月	実習	選択	64	CMプランナー

□ 授業概要

作品制作を通じて自己表現のスキルを高め、客観的な魅力ある一本を完成させる。

□ 授業テーマ

スキルを駆使した自己表現

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	CMショートムービー制作技術3	テーマの決定と企画案
2	／	CMショートムービー制作技術3	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフイング
3	／	CMショートムービー制作技術3	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
4	／	CMショートムービー制作技術3	ロケーション、美術やルックの確認とをテスト撮影
5	／	CMショートムービー制作技術3	撮影
6	／	CMショートムービー制作技術3	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
7	／	CMショートムービー制作技術3	プレビュー／技術レベルの確認
8	／	CMショートムービー制作技術4	テーマの決定と企画案
9	／	CMショートムービー制作技術4	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフイング
10	／	CMショートムービー制作技術4	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
11	／	CMショートムービー制作技術4	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	CMショートムービー制作技術4	撮影
13	／	CMショートムービー制作技術4	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
14	／	CMショートムービー制作技術4	プレビュー／技術レベルの確認
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

作品の完成から演出と技術の再確認

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	映像制作演出			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	備考
	前期 4月～9月	実習	選択	64	CMプランナー

□ 授業概要

作品制作を通じてカットの構成を中心とした効果的な演出方法を学ぶ。  
また、出演者、その他への演技指導の効果的な演出方法を学ぶ。

□ 授業テーマ

作品制作を通じて演出の効果的な手法を身につける。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	CM・ショートムービー制作演出1	作品のテーマを吟味し、自己表現に適した題材を見つける。いくつかのアイデアを絞り込み、作品のトーン、カラー、温度感を決定する。
2	／	CM・ショートムービー制作演出1	意図に沿った脚本を制作し、構成の最適解を見つけ出す。
3	／	CM・ショートムービー制作演出1	制作を行いながら、カット割りや演技プランを含めた演出プランの完成形を固める。
4	／	CM・ショートムービー制作演出1	撮影に向けて、実務的な準備と表現の準備を並行して行う。
5	／	CM・ショートムービー制作演出1	撮影を行う。
6	／	CM・ショートムービー制作演出1	編集作業、MA作業での仕上げを行う。
7	／	CM・ショートムービー制作演出1	試写を通じて、次回作への課題や修正点を発見する。
8	／	CM・ショートムービー制作演出2	作品のテーマを吟味し、自己表現に適した題材を見つける。いくつかのアイデアを絞り込み、作品のトーン、カラー、温度感を決定する。
9	／	CM・ショートムービー制作演出2	意図に沿った脚本を制作し、構成の最適解を見つけ出す。同時に制作進行予定表や香盤表を制作し制作のスピード感を意識する。
10	／	CM・ショートムービー制作演出2	制作を行いながら、カット割りや演技プランを含めた演出プランの完成形を固める。
11	／	CM・ショートムービー制作演出2	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	CM・ショートムービー制作演出2	撮影を行う。
13	／	CM・ショートムービー制作演出2	編集作業、MA作業での仕上げを行う。
14	／	CM・ショートムービー制作演出2	試写を通じて、次回作への課題や修正点を発見する。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演出作品の完成

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	映像制作演出			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	備考
	後期 10月～3月	実習	選択	64	CMプランナー

□ 授業概要

作品制作を通じて自己表現のスキルを高め、客観的な魅力ある一本を完成させる。

□ 授業テーマ

自己表現

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	CM・ショートムービー制作演出3	作品のテーマを吟味し、自己表現に適した題材を見つける。いくつかのアイデアを絞り込み、作品のトーン、カラー、温度感を決定する。
2	／	CM・ショートムービー制作演出3	意図に沿った脚本を制作し、構成の最適解を見つけ出す。できるだけ多くの意見を参考に、「観客に伝わること」を意識した構成にするための工夫を凝らす。
3	／	CM・ショートムービー制作演出3	制作を行いながら、カット割りや演技プランを含めた演出プランの完成形を固める。タイトル周りやテーマ曲など、完成形のイメージも固め始める。
4	／	CM・ショートムービー制作演出3	撮影に向けて、実務的な準備と表現の準備を並行して行う。
5	／	CM・ショートムービー制作演出3	撮影を行う。
6	／	CM・ショートムービー制作演出3	編集作業、MA作業での仕上げを行う。
7	／	CM・ショートムービー制作演出3	試写を行い、今後の課題や自分に必要なスキルに向かい合う。
8	／	CM・ショートムービー制作演出4	作品のテーマを吟味し、自己表現に適した題材を見つける。いくつかのアイデアを絞り込み、作品のトーン、カラー、温度感を決定する。
9	／	CM・ショートムービー制作演出4	意図に沿った脚本を制作し、構成の最適解を見つけ出す。できるだけ多くの意見を参考に、「観客に伝わること」を意識した構成にするための工夫を凝らす。
10	／	CM・ショートムービー制作演出4	制作を行いながら、カット割りや演技プランを含めた演出プランの完成形を固める。タイトル周りやテーマ曲など、完成形のイメージも固め始める。
11	／	CM・ショートムービー制作演出4	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	CM・ショートムービー制作演出4	撮影を行う。
13	／	CM・ショートムービー制作演出4	編集作業、MA作業での仕上げを行う。
14	／	CM・ショートムービー制作演出4	試写を行い、今後の課題や自分に必要なスキルに向かい合う。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演出作品の完成

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	キャリアプランニングⅠ			2	大番 隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	自習	選択	32	キャリア指導員

□ 授業概要

就活に向けた社会人基礎力鍛錬／コミュニケーション能力の習得

□ 授業テーマ

就活に向けた社会人基礎力鍛錬／コミュニケーション能力の習得

□ 授業項目

□ 授業内容

1	フリートーク①	テーマ有無フリートーク
2	グループディスカッション①	グループディスカッション
3	グループディスカッション②	グループディスカッション
4	他己紹介	自己紹介／他己紹介
5	自己分析①	自己分析
6	自己分析②	自己分析、自己PR作成
7	プレゼンテーション①	自己PRプレゼン
8	フリートーク②	フリートーク強化
9	グループディスカッション③	グループディスカッション
10	グループディスカッション④	グループディスカッション
11	企業研究①	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	企業研究②	企業研究
13	業界分析①	企業研究、業界分析
14	業界分析②	企業研究、業界分析
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

就活スキルの向上。

□ 評価方法

授業への取り組み方

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他



2022年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	キャリアプランニングⅡ			2	大番 隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	選択	32	キャリア指導員

授業概要

就職活動で必要となる知識・スキルの習得。

授業テーマ

就活に向けた社会人基礎力鍛錬／コミュニケーション能力の習得

授業項目

授業内容

1	マナー実習①	ビジネスマナー実習
2	マナー実習②	ビジネスマナー実習
3	書類作成①	履歴書作成
4	書類作成②	履歴書作成
5	書類作成③	履歴書作成
6	プレゼンテーション①	作品プレゼン、自己プレゼン練習
7	プレゼンテーション②	作品プレゼン、自己プレゼン練習
8	業界分析①	業界、企業分析
9	業界分析②	業界、企業分析
10	自己PR①	志望動機、自己PRブラッシュアップ
11	自己PR②	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	グループディスカッション①	グループディスカッション
13	グループディスカッション②	グループディスカッション
14	プレゼンテーション③	プレゼンテーション
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

就職活動スキルの向上。

評価方法

授業への取り組み方

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名		週間事業時数	担当講師名
	制作演習Ⅰ		2	小西 一也
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数
	前期 4月～9月	実習	選択	32
				実務経験
				現場カメラマン多数参加

□ 授業概要

音の表現からの演出理解

□ 授業テーマ

映像制作における音声の重要性を理解する

□ 授業項目

□ 授業内容

1	録音技術基礎①	録音における機材の確認や使用方法
2	録音技術基礎②	作品ジャンルにおける音の演出方法の違いを理解する
3	アフレコ収録①	アフレコと同録における音声の違いを理解する
4	アフレコ収録②	アフレコ及びナレーション収録の方法を理解する
5	アフレコ収録③	アフレコ及びナレーション収録実習
6	MA①	効果音やBGMにおける音の演出を理解する
7	MA②	効果音やBGMにおける音の演出実習
8	音声演出①	音声のみのショートドラマ制作実習
9	音声演出②	音声のみのショートドラマ制作実習
10	音声演出③	音声のみのショートドラマ制作実習
11	同時録音①	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	同時録音②	同録におけるショートドラマ制作演習
13	同時録音③	同録におけるショートドラマ制作演習
14	同時録音④	同録におけるショートドラマ制作演習
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

目的に合わせた録音を行える技術を身につける。

□ 評価方法

課題、出席状況

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	制作演習Ⅱ			2	上田 真美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	選択	32	TV制作実務経験有

□ 授業概要

グラフィックデザインの基礎知識と技術を習得。基礎力のアップ。

□ 授業テーマ

広告とデザインの関連性の理解

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	デザイン基礎	
2	／	デザイン基礎	デザイン基礎講義。オペレーションチェック。図学基礎。
3	／	デザイン基礎	デザイン基礎講義。オペレーションチェック。文字校正、文字編集基礎。
4	／	広告基礎	デザイン基礎講義。広告学基礎。
5	／	色彩基礎	デザイン基礎講義。色彩学基礎。
6	／	宣材について	デザイン基礎講義。広告写真、宣材写真の扱い方。
7	／	印刷について	デザイン基礎講義。印刷基礎。デザインしたものを印刷してみる。
8	／	広告デザイン	広告デザイン講義。アイデアの出し方講義。
9	／	広告デザイン	広告デザイン講義。シチュエーション別広告の作り方と注意点等。
10	／	広告デザイン	広告デザイン制作
11	／	課外授業	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	広告制作	広告物制作（紙媒体）
13	／	広告制作	広告物制作（紙媒体）
14	／	プレビュー	広告制作物提出、プレゼンテーション（講義含む）。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

デザインの基本を身につける

□ 評価方法

課題評価、出席状況

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名	週間事業時数	担当講師名
	ホームルーム	2	大番 隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	実務経験
	前期 4月～9月	演習 選択	キャリアサポート
		年間授業時数	
		32	

□ 授業概要

自分を知り、業界を知る。履歴書完成を目標とする  
現場で即戦力になるための個人面談にて個々の評価と課題設定を行う。

□ 授業テーマ

写真業界の理解を深め、企業リストアップを行う。現場経験を与え、現場で耐えられる心身獲得を目指す。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	オリエンテーション	年間スケジュール、授業スケジュール伝達
2	／	履歴書について	履歴書指導 課題：履歴書購入
3	／	履歴書について	履歴書指導(証明写真指導) 課題：GW研修レポート提出
4	／	履歴書について	履歴書指導
5	／	履歴書について	履歴書指導 課題：証明写真持参
6	／	履歴書について	履歴書指導 課題：アルバイト経歴書、封筒宛名書き
7	／	履歴書について	履歴書指完成/提出
8	／	個人面談	課題：現場、イベント、体験スタッフ決め
9	／	個人面談	課題：現場、イベント、体験スタッフ決め
10	／	個人面談	課題：現場、イベント、体験スタッフ決め
11	／	研修	7/31、8/1 九州放送機器展 振替
12	／	野外フェス研修「TRIANGLE」 振り返り	課題：夏期活動報告書提出/九州放送機器展レポート提出
13	／	個人面談	課題：業界EXPOプロフシート
14	／	個人面談	課題：業界EXPOプロフシート
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

ポートフォリオ(作品集)完成  
プレゼン

□ 評価方法

課題制作、提出物、プレゼンでの評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 1 年

授業コード	授業科目名		週間事業時数	担当講師名
	ホームルーム		2	大番 隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	前期 10月～3月	演習 選択	32	キャリアサポート

□ 授業概要

業界EXPOに向けプロフシート作成～プレゼンテーション  
 春期活動期間に向け企業研究、ピックアップ、個人面談

□ 授業テーマ

業界EXPOを目指し、卒業後の進路イメージを固めていく。  
 9月末内定75%、12月末内定100%

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	オリエンテーション	業界EXPO用プロフシート作成
2	／	プロフシートについて	業界EXPO用プロフシート作成
3	／	プロフシートについて	業界EXPO用プロフシート作成
4	／	プロフシートについて	業界EXPO用プロフシート作成
5	／	プロフシートについて	業界EXPO用プロフシート作成
6	／	プロフシートについて	プロフシートを使用してのプレゼンテーション(社会性検定)
7	／	プロフシートについて	プロフシートを使用してのプレゼンテーション(社会性検定)
8	／	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ
9	／	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ
10	／	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ
11	／	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ
12	／	研修	九州プロライティング&プロサウンドフェア 振替
13	／	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ
14	／	個人面談	課題：春期活動スケジュール、希望企業提出
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

ポートフォリオ(作品集)完成  
 プレゼン

□ 評価方法

課題制作、提出物、プレゼンでの評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 2 年

授業コード	授業科目名		週間事業時数	担当講師名
	ホームルーム		2	大番 隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習 選択	32	キャリアサポート

授業概要

個別面談を通して、卒業後のビジョンを明確にし、就活の次の一手の準備と実行。

授業テーマ

個別のキャリアプラン

授業項目

授業内容

1	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
2	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
3	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
4	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
5	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
6	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
7	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
8	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
9	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
10	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
11	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
12	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
13	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
14	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
15	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
16	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題

到達目標

評価方法

課題制作、提出物での評価

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 2 年

授業コード	授業科目名		週間事業時数	担当講師名
	ホームルーム		2	大番 隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	前期 10月～3月	演習 選択	32	キャリアサポート

授業概要

個別面談を通して、卒業後のビジョンを明確にし、就活の次の一手の準備と実行。

授業テーマ

個別のキャリアプラン

授業項目

授業内容

1	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
2	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
3	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
4	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
5	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
6	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
7	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
8	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
9	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
10	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
11	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
12	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
13	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
14	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
15	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
16	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題

到達目標

評価方法

課題制作、提出物での評価

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 1 年

授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	リクルートナビゲーション		2	安河内 智美
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習 必須	32	キャリアプラン講師

□ 授業概要

就活に向けた社会人基礎力鍛錬／コミュニケーション能力の習得

.....

.....

□ 授業テーマ

就活に向けた社会人基礎力鍛錬／コミュニケーション能力の習得

.....

.....

□ 授業項目

□ 授業内容

1	フリートーク①	テーマ有無フリートーク
2	グループディスカッション①	グループディスカッション
3	グループディスカッション②	グループディスカッション
4	他己紹介	自己紹介／他己紹介
5	自己分析①	自己分析
6	自己分析②	自己分析、自己PR作成
7	プレゼンテーション①	自己PRプレゼン
8	フリートーク②	フリートーク強化
9	グループディスカッション③	グループディスカッション
10	グループディスカッション④	グループディスカッション
11	企業研究①	企業研究
12	企業研究②	企業研究
13	業界分析①	企業研究、業界分析
14	業界分析②	企業研究、業界分析
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

就活スキルの向上。

.....

.....

□ 評価方法

授業への取り組み方

.....

.....

□ 教科書 ・ 参考文献

.....

.....

.....

□ その他

.....

.....

.....



2022年度（前期） 放送・映画学科 1 年

授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	リクルートナビゲーション		2	安河内 智美
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	前期 10月～3月	演習 必須	32	キャリアプラン講師

□ 授業概要

就職活動で必要となる知識・スキルの習得。

□ 授業テーマ

就活に向けた社会人基礎力鍛錬／コミュニケーション能力の習得

□ 授業項目

□ 授業内容

1	マナー実習①	ビジネスマナー実習
2	マナー実習②	ビジネスマナー実習
3	書類作成①	履歴書作成
4	書類作成②	履歴書作成
5	書類作成③	履歴書作成
6	プレゼンテーション①	作品プレゼン、自己プレゼン練習
7	プレゼンテーション②	作品プレゼン、自己プレゼン練習
8	業界分析①	業界、企業分析
9	業界分析②	業界、企業分析
10	自己PR①	志望動機、自己PRブラッシュアップ
11	自己PR②	志望動機、自己PRブラッシュアップ
12	グループディスカッション①	グループディスカッション
13	グループディスカッション②	グループディスカッション
14	プレゼンテーション③	プレゼンテーション
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

就職活動スキルの向上。

□ 評価方法

授業への取り組み方

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期）		放送・映画学科		2 年	
授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名	
	リクルートナビゲーション		2	大番 隆史	
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必修選択	32	キャリアサポート

授業概要

写真業界における必要なスキルを明確にし、いつまでに何を取得するのか？のキャリアプランの重要性と具体的なプラン設定する。

授業テーマ

計画が絵の餅にならぬように努める。

授業項目

授業内容

1	／	キャリアをプランニングすると は？	現在の進路希望を明確にする
2	／	卒業後の雇用形態を明確にする	雇用形態を明確にする
3	／	なぜ働くのか？	そもそも働くとは何か？を考察する
4	／	改めて自己分析①	長所と短所
5	／	改めて自己分析②	過去の言動を振り返る
6	／	社会人と学生	事例で違いを知る
7	／	権利と責任について	需要と供給
8	／	職種	希望職種と適正について
9	／	直近の業界動向	特にコロナ前後の業界動向の変化を明確に把握する
10	／	提出書類の準備	提出書類を把握し、細かな条件を確認し、作成する。
11	／	提出書類のブラッシュアップ	まずは、書類審査合格を目指すためのブラッシュアップ。
12	／	個別対応	ここからは個別対応で就活を実践とする。
13	／	個別対応	ここからは個別対応で就活を実践とする。
14	／	個別対応	ここからは個別対応で就活を実践とする。
15	／	個別対応	ここからは個別対応で就活を実践とする。
16	／	振り返り	全体の振り返り。

到達目標

就活の最初のゴールを面接に設定。

評価方法

課題制作、提出物での評価

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 2 年

授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	リクルートナビゲーション		2	大番 隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習 必修選択	32	キャリアサポート

授業概要

個別面談を通して、卒業後のビジョンを明確にし、就活の次の一手の準備と実行。

授業テーマ

個別のキャリアプラン

授業項目

授業内容

1	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
2	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
3	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
4	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
5	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
6	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
7	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
8	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
9	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
10	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
11	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
12	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
13	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
14	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
15	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
16	/	個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題

到達目標

評価方法

課題制作、提出物での評価

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	コピーライティング			2	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	選択	32	CMプランナー

□ 授業概要

基本的な日本語の構造分析と広告の世界におけるコピーの意義、役割を知る。  
また、実際に効果的で「刺さる」コピーを書けるようになる。

□ 授業テーマ

伝えるフレーズへのアプローチ

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	コピー解説	過去の名作コピーの分析。キャッチコピーとは何か。役割と種類の理解。
2	／	コピー解説	過去の名作コピーの分析。必要要素の整理とコンセプトワーク。
3	／	コピー解説	過去の名作コピーの分析。コンセプトから伝えるべき内容をまとめる。
4	／	コピー解説	過去の名作コピーの分析。複数のコピー案からメインコピーを選定する。
5	／	コピー解説	過去の名作コピーの分析。リードコピー、メインコピーの構成。
6	／	コピー解説	過去の名作コピーの分析。ビジュアルとのマッチングを中心にブラッシュアップ。
7	／	コピー解説	過去の名作コピーの分析。完成した作品の分析。アドバイス。
8	／	コピー解説	規制の商品のコピーを考えよう！①
9	／	コピー解説	規制の商品のコピーを考えよう！②
10	／	コピー解説	規制の商品のコピーを考えよう！③
11	／	コピー解説	3分間プレゼンテーション準備(1)
12	／	コピー解説	3分間プレゼンテーション準備(2)
13	／	コピー解説	3分間プレゼンテーション準備(3)
14	／	コピー解説	発表
15	／	コピー解説	振り返り
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

コピーを完成させる

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	映画テクニカルワーク			4	小西 一也
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	選択	64	現場カメラマン多数参加

□ 授業概要

グループスタッフワークで分業による作品スケールの確保

□ 授業テーマ

グループワークマネジメント

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	プリプロダクション	グループ制作企画選考会／スタッフニング
2	／	プリプロダクション	企画から脚本へ、省略と構成
3	／	プロダクション	ロケーション・撮影
4	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
5	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
6	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
7	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
8	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
9	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
10	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
11	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
12	／	プロダクション	撮影・仮編集チェック
13	／	プロダクション	撮影・仮編集チェック
14	／	ポストプロダクション	編集・仕上げ
15	／	プレビュー	合評 リテイク、撮り直し、手直し、再編集
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

グループとしての完成

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	映画テクニカルワーク			4	小西 一也
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	選択	64	現場カメラマン多数参加

授業概要

グループスタッフワークで分業による作品スケールの確保

授業テーマ

グループワークマネジメント

前期の活動での不具合の共有と改善案の実践。

授業項目

授業内容

1	／	プリプロダクション	グループ制作企画選考会／スタッフニング
2	／	プリプロダクション	企画から脚本へ、省略と構成
3	／	プロダクション	ロケーション・撮影
4	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
5	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
6	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
7	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
8	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
9	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
10	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
11	／	グループ制作	各班撮影。進捗チェック
12	／	プロダクション	撮影・仮編集チェック
13	／	プロダクション	撮影・仮編集チェック
14	／	ポストプロダクション	編集・仕上げ
15	／	プレビュー	合評 リテイク、撮り直し、手直し、再編集
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

グループとしての完成

評価方法

課題評価

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	プリプロダクションワーク			2	田上 昌一
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	選択	32	ポストプロダクション勤務

□ 授業概要

グループでの制作の基本を学び、個人制作からのクォリティーアップを目指す。

□ 授業テーマ

制作進行の効率化を考える

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ガイダンス	プロローグ
2	／	プリプロダクション	グループ割りから、それぞれの特性を活かした役割の分配を行う。課題に対してのプレストを行う。
3	／	プリプロダクション	グループ割りから、それぞれの特性を活かした役割の分配を行う。課題に対してのプレストを行う。
4	／	プリプロダクション	複数の企画コンテを制作し、その中から最適な企画を決定する。また、決定した企画を元に演出プラン、制作準備を開始する。
5	／	プリプロダクション	複数の企画コンテを制作し、その中から最適な企画を決定する。また、決定した企画を元に演出プラン、制作準備を開始する。
6	／	プリプロダクション	演出コンテを検証しブラッシュアップを行う。制作の進捗状況をチェックし、アドバイスをを行う。
7	／	プリプロダクション	演出コンテを検証しブラッシュアップを行う。制作の進捗状況をチェックし、アドバイスをを行う。
8	／	プロダクション	制作準備と撮影準備。
9	／	プロダクション	制作準備と撮影準備。
10	／	プロダクション	撮影の実施。
11	／	プロダクション	撮影の実施。
12	／	ポストプロダクション	仮編集のチェックとアドバイス。追加撮影。
13	／	ポストプロダクション	仮編集のチェックとアドバイス。追加撮影。
14	／	プレビュー	完成作品の試写、PPMの提出。アドバイスをを行う。
15	／	プレビュー	完成作品の試写、PPMの提出。アドバイスをを行う。
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

作業効率アップを意識する。

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	プリプロダクションワーク			4	田上 昌一
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	選択	64	ポストプロダクション勤務

□ 授業概要

グループでの制作の基本を学び、個人制作からのクォリティーアップを目指す。

□ 授業テーマ

制作進行の効率化を考える

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ガイダンス	プロローグ
2	／	プリプロダクション	グループ割りから、それぞれの特性を活かした役割の分配を行う。課題に対してのプレストを行う。
3	／	プリプロダクション	グループ割りから、それぞれの特性を活かした役割の分配を行う。課題に対してのプレストを行う。
4	／	プリプロダクション	複数の企画コンテを制作し、その中から最適な企画を決定する。また、決定した企画を元に演出プラン、制作準備を開始する。
5	／	プリプロダクション	複数の企画コンテを制作し、その中から最適な企画を決定する。また、決定した企画を元に演出プラン、制作準備を開始する。
6	／	プリプロダクション	演出コンテを検証しブラッシュアップを行う。制作の進捗状況をチェックし、アドバイスをを行う。
7	／	プリプロダクション	演出コンテを検証しブラッシュアップを行う。制作の進捗状況をチェックし、アドバイスをを行う。
8	／	プロダクション	制作準備と撮影準備。
9	／	プロダクション	制作準備と撮影準備。
10	／	プロダクション	撮影の実施。
11	／	プロダクション	撮影の実施。
12	／	ポストプロダクション	仮編集のチェックとアドバイス。追加撮影。
13	／	ポストプロダクション	仮編集のチェックとアドバイス。追加撮影。
14	／	プレビュー	完成作品の試写、PPMの提出。アドバイスをを行う。
15	／	プレビュー	完成作品の試写、PPMの提出。アドバイスをを行う。
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

作業効率アップを意識する。

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他



2022年度（後期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	プリプロダクションワーク			4	田上 昌一
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	選択	64	ポストプロダクション勤務

□ 授業概要

グループでの制作の基本を学び、個人制作からのクォリティーアップを目指す。

□ 授業テーマ

制作進行の効率化を考える

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ガイダンス	プロローグ
2	／	プリプロダクション	グループ割りから、それぞれの特性を活かした役割の分配を行う。課題に対してのプレストを行う。
3	／	プリプロダクション	グループ割りから、それぞれの特性を活かした役割の分配を行う。課題に対してのプレストを行う。
4	／	プリプロダクション	複数の企画コンテを制作し、その中から最適な企画を決定する。また、決定した企画を元に演出プラン、制作準備を開始する。
5	／	プリプロダクション	複数の企画コンテを制作し、その中から最適な企画を決定する。また、決定した企画を元に演出プラン、制作準備を開始する。
6	／	プリプロダクション	演出コンテを検証しブラッシュアップを行う。制作の進捗状況をチェックし、アドバイスを行う。
7	／	プリプロダクション	演出コンテを検証しブラッシュアップを行う。制作の進捗状況をチェックし、アドバイスを行う。
8	／	プロダクション	制作準備と撮影準備。
9	／	プロダクション	制作準備と撮影準備。
10	／	プロダクション	撮影の実施。
11	／	プロダクション	撮影の実施。
12	／	ポストプロダクション	仮編集のチェックとアドバイス。追加撮影。
13	／	ポストプロダクション	仮編集のチェックとアドバイス。追加撮影。
14	／	プレビュー	完成作品の試写、PPMの提出。アドバイスを行う。
15	／	プレビュー	完成作品の試写、PPMの提出。アドバイスを行う。
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

作業効率アップを意識する。

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	照明テクニカルワーク			2	藤屋 登
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	実習	選択	32	TV照明業務に従事

□ 授業概要

演出における照明プランおよび機材の選定を理解しクオリティ(スピード)を高める1

□ 授業テーマ

機材選定と照明システム構築

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ライティングプラン1	ライティングプラン1-1 商品撮影1
2	／	ライティングプラン1	ライティングプラン1-2 シズル1
3	／	ライティングプラン1	ライティングプラン1-3 シズル2
4	／	ライティングプラン1	ライティングプラン1-4 ポートレート1
5	／	ライティングプラン1	ライティングプラン1-5 ポートレート2
6	／	ライティングプラン1	ライティングプラン1-6 クロマキー1
7	／	ライティングプラン1	ライティングプラン1まとめ
8	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-1 商品撮影1
9	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-2 シズル1
10	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-3 シズル2
11	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-4 ポートレート1
12	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-5 ポートレート2
13	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-6 クロマキー1
14	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2まとめ
15	／	振り返り	総括
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

時間短縮とクオリティアップ

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	照明テクニカルワーク			4	藤屋 登
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	選択	64	TV照明業務に従事

授業概要

演出における照明プランおよび機材の選定を理解しクオリティ(スピード)を高める

授業テーマ

機材選定と照明システム構築

授業項目

授業内容

1	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-1	ドラマシーン1
2	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-1	ドラマシーン2
3	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-1	ドラマシーン3
4	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-1	ドラマシーン4
5	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-1	ドラマシーン5
6	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2-1	ドラマシーン6
7	／	ライティングプラン2	ライティングプラン2まとめ	
8	／	ライティングプラン3	ライティングプラン3-1	商品撮影1
9	／	ライティングプラン3	ライティングプラン3-2	シズル1
10	／	ライティングプラン3	ライティングプラン3-3	シズル2
11	／	ライティングプラン3	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)	
12	／	ライティングプラン3	ライティングプラン3-5	ポートレート2
13	／	ライティングプラン3	ライティングプラン3-6	クロマキー1
14	／	ライティングプラン3	ライティングプラン3まとめ	
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	

到達目標

時間短縮とクオリティアップ

評価方法

課題評価

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	番組企画演出			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	備考
	後期 10月～3月	実習	選択	64	CMプランナー

授業概要

制作を通じた進行と管理の強化

授業テーマ

トーク番組をベースにスタジオワークを学ぶ  
VTRとスタジオを組み合わせた番組制作

授業項目

授業内容

1	／	リサーチⅠ①	出演者のリサーチを行い情報をまとめる
2	／	リサーチⅠ②	出演者に関わる作品を鑑賞し情報をまとめる
3	／	台本制作Ⅰ①	トークテーマを決め台本を作成する/技術スタッフとカメラ位置打ち合わせ
4	／	台本制作Ⅰ②	台本を完成させスタッフ出演者用に準備/当日必要なもの人配置の洗い出し
5	／	リハーサルⅠ①	リハーサル
6	／	収録Ⅰ①	本番
7	／	合評会Ⅰ①	反省会
8	／	リサーチⅡ①	出演者のリサーチを行い情報をまとめる
9	／	リサーチⅡ②	出演者に関わる作品を鑑賞し情報をまとめる
10	／	台本制作Ⅱ①	トークテーマを決め台本を作成する/技術スタッフとカメラ位置打ち合わせ
11	／	台本制作Ⅱ②	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	リハーサルⅡ①	リハーサル
13	／	収録Ⅱ①	本番
14	／	合評会Ⅱ①	反省会
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

企画から完成までのワークフローを実現できる技術を身につける

評価方法

課題・出席状況

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	ポスプロワーク			2	田上 昌一
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	備考
	後期 10月～3月	実習	選択	32	ポストプロダクション勤務

授業概要

クオリティチェックを理解する

授業テーマ

最終フォーマットのクオリティを理解する

授業項目

授業内容

1	／	クオリティチェック	クオリティチェックを理解する(映像レベルを波形から読み取る)
2	／	クオリティチェック	クオリティチェックを理解する(映像レベルを波形から読み取る)
3	／	クオリティチェック	クオリティチェックを理解する(音圧設定・効果を設定する)
4	／	クオリティチェック	クオリティチェックを理解する(音圧設定・効果を設定する)
5	／	クオリティチェック	クオリティチェックを理解する(納品フォーマット)
6	／	クオリティチェック	クオリティチェックを理解する(納品フォーマット)
7	／	クオリティチェック	クオリティチェックを理解する(まとめ)
8	／	映像信号	系統別・信号入出力をまとめる
9	／	映像信号	系統別・信号入出力をまとめる
10	／	XDCAMシステム	XDCAM HDシステム構築
11	／	XDCAMシステム	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	最終フォーマット	データ納品フォーマット仕上げ
13	／	最終フォーマット	データ納品フォーマット仕上げ
14	／	まとめ	ポスプロシステム・ワークまとめ
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

ポストプロダクションの手順を理解する

評価方法

課題、出席状況

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（前期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名		週間事業時数	担当講師名
	ポスプロワーク		4	田上 昌一
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数
	前期 4月～9月	演習	選択	64
				備考
				ポストプロダクション勤務

□ 授業概要

映像信号・システムの理解

PCシステムとフォーマットの理解しオペレーションを習得する

□ 授業テーマ

映像信号・システムの理解

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	映像フォーマット	フォーマットなど映像用語・規格の理解
2	／	映像フォーマット	タイムコード・同期信号など映像用語・信号の理解
3	／	映像フォーマット	タイムコード・同期信号など映像用語・信号の理解
4	／	編集システム	システムを組み上げながら各端子と信号の流れを理解する
5	／	編集システム	システムを組み上げながら各端子と信号の流れを理解する
6	／	編集システム	リニア編集における要点、メリット・デメリットを理解する
7	／	編集システム	リニア編集における要点、メリット・デメリットを理解する
8	／	ノンリニアシステム	ノンリニアシステムにおける各種設定(映像規格の設定)を理解する
9	／	ノンリニアシステム	ノンリニアシステムにおける各種設定(信号変換と役割)を理解する
10	／	ノンリニアシステム	ノンリニアシステムにおける各種設定(信号変換と役割)を理解する
11	／	ノンリニアシステム	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	ノンリニアシステム	ノンリニアシステムにおける各種設定(VTRコントロール)を理解する
13	／	ノンリニアシステム	ノンリニアシステムにおける各種設定(完成フォーマット)を理解する
14	／	ノンリニアシステム	ノンリニアシステムにおける各種設定(完成フォーマット)を理解する
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

ポストプロダクションのシステムを理解する。

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

**2022年度（後期） 放送・映画学科 2年**

授業コード	授業科目名		週間事業時数	担当講師名
	<b>映像ゼミナール</b>		<b>2</b>	<b>小西 一也</b>
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数
	<b>後期 10月～3月</b>	<b>実習</b>	<b>選択</b>	<b>32</b>
				備考
				<b>現場カメラマン多数参加</b>

授業概要

既存の映像作品を徹底的に論理的に考察、分析しながら、メディアミックスを組み込んだ映像作品を完成させる

授業テーマ

既存の映像作品から多様なエレメントを考察し理解する

授業項目

授業内容

1	／	メディアミックス	メディアミックスとは。企画開始。
2	／	プラン	既存の映像作品の考察。企画の決定とメディアの選択。演出プラン開始。
3	／	演出	既存の映像作品の考察。演出案のチェックとブラッシュアップ。制作準備開始。
4	／	アート	既存の映像作品の考察。演出案を含むアートディレクションプランの決定。引き続き制作準備。
5	／	デザイン	既存の映像作品の考察。デザイン案ラフのチェック。撮影準備。
6	／	ショット	既存の映像作品の考察。撮影本番及び素材のチェック。デザインブラッシュアップ。
7	／	チェック	既存の映像作品の考察。完成作品のチェックと分析。
8	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
9	／	復習と確認	撮影に関する全般的な確認事項、基礎、質疑と実践
10	／	自己表現	とにかく撮ってみる
11	／	自己表現	主観的なポートレートと伝える客観
12	／	環境を感じる	意図した自然光を身につける
13	／	環境を感じる	人工光を味方にして暗闇に立つ
14	／	環境を感じる	冬の散歩道、確かな気配
15	／	表現の多様性	倒錯的表現基礎
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

作品の完成から演出と技術の再確認

評価方法

課題評価

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	ファイナルワークA			2	森本 雅具
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	選択	32	実務経験多数

□ 授業概要

再度映画制作に制約を設けることで、見つめ直す演出論とそれをクリアするための技術力

□ 授業テーマ

制約と挑戦

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ワンカット制作①	ワンカットムービー企画提出
2	／	ワンカット制作②	プロット、画コンテ、撮影方法プレゼン
3	／	ワンカット制作③	撮影、もしくは撮影準備、稽古
4	／	ワンカット制作④	撮影期間
5	／	ワンカット制作⑤	編集・仕上げ
6	／	ワンカット制作⑥	合評、リベンジ、編集手直し
7	／	短編制作①	短編映画 企画発表、スタッフィング、スケジュール
8	／	短編制作②	企画・スケジュールチェック
9	／	短編制作③	制作準備、撮影準備
10	／	短編制作④	制作準備、撮影準備、撮影
11	／	短編制作⑤	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	短編制作⑥	撮影、編集、仕上げ
13	／	短編制作⑦	合評、リテイク、追撮、改編、次回企画
14	／	短編制作⑧	企画選考会、スタッフィング、スケジュール
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

作品の完成

□ 評価方法

課題評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他



2022年度（後期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	ファナルワークB			2	森本 雅具
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	選択	32	実務経験多数

□ 授業概要

制作を通じた進行と管理の強化

□ 授業テーマ

スキルアップワーク

企画から台本作成、作品の完成。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	プランニング①	スキルアップワーク プランニング
2	／	プランニング②	スキルアップワーク プランニングFIX
3	／	リサーチ	スキルアップワーク リサーチ
4	／	番組演出①	スキルアップワーク 台本チェック
5	／	番組演出②	スキルアップワーク 台本リリース
6	／	番組制作①	スキルアップワーク プレゼン/スタッフィング/スケジューリング
7	／	番組制作②	スキルアップワーク プロダクション準備・調整
8	／	番組制作③	スキルアップワーク 撮影・素材チェック
9	／	番組制作④	スキルアップワーク 撮影・素材チェック
10	／	オフライン編集①	スキルアップワーク 撮影・素材・仮編集チェック
11	／	オフライン編集②	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	オンライン編集①	スキルアップワーク 編集・仕上げ
13	／	オンライン編集②	仕上げ・試写
14	／	合評会	最終試写・合評
15	／	振り返り	
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

企画から完成までのワークフローを実現できる技術を身につける

□ 評価方法

課題・出席状況

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	ライフデザイン			2	大番 隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	実習	選択	32	キャリアサポート

授業概要

自分を丁寧に見つめ直す、課題を明確にし、今後の人生設計をする。

授業テーマ

卒業後の人生を計画する

授業項目

授業内容

1	／	ガイダンス	ライフデザインとは？
2	／	過去の自分	幼少期の自分
3	／	過去の自分	小学生の頃の自分
4	／	過去の自分	中学生の頃の自分
5	／	過去の自分	高校生の頃の自分
6	／	現在の私	入学時の私
7	／	現在の私	1年前期の私
8	／	現在の私	1年後期の私
9	／	現在の私	2年前期の私
10	／	将来の自分	卒業後の私
11	／	将来の自分	社会人3年目の私
12	／	将来の自分	社会人7年目の私
13	／	将来の自分	社会人10年以降の私
14	／	ライフデザイン	デザイン作成
15	／	ライフデザイン	デザインシェア
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

視点の重要性

評価方法

課題評価

教科書 ・ 参考文献

その他

2022年度（後期） 写真学科 1 年

授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	企業研修		14	大番 隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	前期 10月～3月	演習 必修選択	224	キャリアサポート実績

□ 授業概要

現場経験の重要性を理解し、現場での実践を体験する。  
(学内での準備も含む)

□ 授業テーマ

授業では学べない、撮影現場での直接的な気づきを得る。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
2	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
3	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
4	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
5	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
6	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
7	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
8	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
9	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
10	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
11	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
12	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
13	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
14	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
15	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
16	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験

□ 到達目標

現場理解を深める。

□ 評価方法

企業側からの評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（前期） 写真学科 2 年

授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	企業研修		14	大番 隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習 必修選択	224	キャリアサポート実績

□ 授業概要

現場経験の重要性を理解し、現場での実践を体験する。  
(学内での準備も含む)

□ 授業テーマ

授業では学べない、撮影現場での直接的な気づきを得る。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
2	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
3	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
4	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
5	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
6	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
7	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
8	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
9	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
10	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
11	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
12	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
13	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
14	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
15	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
16	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験

□ 到達目標

現場理解を深める。

□ 評価方法

企業側からの評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2022年度（後期） 写真学科 2 年

授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	企業研修		14	大番 隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	前期 10月～3月	演習 必修選択	224	キャリアサポート

授業概要

現場経験の重要性を理解し、現場での実践を体験する。  
(学内での準備も含む)

授業テーマ

授業では学べない、撮影現場での直接的な気づきを得る。

授業項目

授業内容

1	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
2	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
3	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
4	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
5	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
6	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
7	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
8	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
9	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
10	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
11	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
12	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
13	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
14	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
15	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験
16	現場経験に振り替え	学内では学べない経験を直接的に体験

到達目標

現場理解を深める。

評価方法

企業側からの評価

教科書 ・ 参考文献

その他